



宮崎大学マガジン

のススメ

【特集】

宮崎大学未来展望

LOVEみやだい

第2回宮崎大学ビジネスプランコンテスト

Topics & Information



宮崎大学未来展望

平成が終わり、新しい元号がスタートします。宮崎大学のこれまでを振り返り、そこから新たな未来に向けて、これから宮崎大学がどう進んでいくべきか、考えてみたいと思います。

学生時代を宮崎大学で過ごし、現在は副学長を務める明石 良先生に話を聞きました。

宮崎大学の平成史の出来事を聞きました。

平成の宮崎大学で一番大きい出来事は、宮崎大学のキャンパスの移転です。平成は元年の移転完了からスタートしました。

私が宮崎大学の1年生のときに、宮崎では現在宮崎公立大学のある船塚周辺一帯にあったキャンパスを木花に移転する学園都市計画が進められていました。ある日、青島で泳いだ後に先輩に木花へ連れてこられて驚きました。当時はまだ切り開かれていない山でしたから。農学部が移転が完了した当初は旧キャンパスの方から新キャンパスに通っていましたが、年々、アパートが増え、学生が新キャンパスに定着し始めました。すると、残念なことに宮崎市の中心部から学生が減って、4年間、一度も中心市街地に出ていないという学生が増えていくのに驚いておりました。学生と街中の関係性については今後の課題ですね。

その次に来た大きな波が「平成の大合併」です。市町村の合併に伴って、大学の統合も始まりました。学園都市計画により移転してきた宮崎大学(木花)と宮崎医科大学(清武)は、「全国

イチ近い大学」と言われるほど至近距離の大学の統合ということになりました。

統合によるメリットに、異分野融合があります。異分野融合大学院として農学工学総合研究科(平成19年設置)や医学獣医学総合研究科(平成22年設置)があるのは、全国でも珍しく宮崎大学の特色にもなっております。

大学の重要な機能は教育・研究です。それは昔から変わりませんが、近年はそこに地域貢献も求められています。例えば、平成16年から、中心市街地にサテライト・オフィス(現・まちなかキャンパス)を設置しています。今、宮崎駅周辺が変わろうとしている中で、大学と中心市街地との連携をどうするか模索しています。

さらに、国際連携機能も重要視されてきました。博士課程の設置を進め、そこに留学生を積極的に受け入れるようになりました。外国人留学生は、現在200名を超え、交流協定校は平成30年時点で100校を突破しております。

今後、宮崎大学はどう進んでいくべきでしょうか。

木花・清武キャンパスでしかできないこと。キーワードの一つは、スポーツだと思っています。自然豊かな素晴らしい環境の中でフィールドを整備し、大学のスポーツを活性化していきます。宮崎大学は競技横断的統括組織「UNIVAS」の参加についても検討しております。さらにスポーツを通じて交流協定校などとの海外交流もできます。今後、最も必要となる語学、中でも専門性の高い語学も、こういった交流の中で高めていくことができると思います。

また、将来の大学改革を見据え、宮崎市内にある国立公立大学との連携をより深めていくことになると思います。街中で講義の一部を共同で行うなど、中心市街地の活性化にも繋がる動きが今後出てくるかもしれません。

いずれにせよ、今後、AIの発展に伴って、語学や情報処理がアシストされていくでしょう。また、IoTやビッグデータなど、国が提唱する「ソサエティ5.0」も迫ってきており、社会が大きく変わっていくでしょう。宮崎大学は、今後も社会の流れに合わせながら大学の機能を発揮できるよう変わっていくことになりそうです。

宮崎大学 平成History

宮崎大学マガジン10周年!



主な宮崎大学平成トピックス

- H元.11.11 宮崎大学、船塚周辺から木花キャンパスへの移転が完了
- H6.10.29 宮崎医科大学開学20周年記念式典挙行
- H13.4.1 宮崎医科大学看護学科を設置
- H15.10.1 宮崎大学と宮崎医科大学が統合
- H16.3.26 サテライト・オフィスを宮崎市中心部に設置
- H16.4.1 国立大学の法人化に伴い、法人の設置する宮崎大学となる
- H21.2.17 広報誌「宮崎大学マガジン」の創刊号を発行
- H22.8.4 サテライト・オフィスを移転
- H24.4.18 医学部附属病院において、ドクターヘリの運航を開始
- H26.11.8 創立330記念事業(落成式、記念式典・祝賀会)を開催
- H28.4.1 地域資源創成学部を設置
- H29.2.1 サテライト・オフィスを廃止し、宮崎大学まちなかキャンパスを設置
- H29.4.1 産学・地域連携センター地域デザイン講座を設置
- H29.5.15 日南市油津にある創客創人センターに「宮崎大学日南デスク」を開設
- H30.11.30 広報誌「宮崎大学マガジン」30号で10周年を迎える



宮崎大学マガジン創刊!



明石 良 Akashi Ryo

農学部畜産草地科学科教授
宮崎大学副学長(機能強化推進担当)

学部・大学院時代を宮崎大学で過ごし、鹿児島大学連合農学研究科にて博士号を取得。その後宮崎大学にて助手・助教授・教授を経て現在は宮崎大学副学長を務める。

第2回 宮崎大学ビジネスプランコンテスト

「第2回宮崎大学ビジネスプランコンテスト」の決勝プレゼンテーションを9月22日、宮崎市民プラザオルブライトホールで開催しました。本事業は、学生の持つ問題意識や発想力、構想力、研究成果を活かしたチャレンジを宮崎大学・宮崎銀行がタッグを組んで支援し、宮崎から世界を視野に活躍する人材の育成・輩出を目指すもので、今年は18組の学生たちからの応募がありました。

学生の創造力やチャレンジ精神、自ら考え解決する能力などを養うため、この日までにビジネスプラン作成講座やプレゼンテーション力向上講座などを実施し、学内審査を突破した7組が決勝の舞台に立ちました。

当日は、企業関係者や高校生ら250名を超える多くの観覧者が、会場で出場者のアツイチャレンジを体感していました。



グランプリ

Mitok(ミトック)

～獣医師、ペット、飼い主がwin-winな社会をつくる～

動物版のナースコール。人工知能(AI)で症状が急変する前に現れる予兆を解析し、獣医師に知らせるシステム。獣医師の負担を減らすことを目指す。

農学部獣医学科3年

久保洋朗さん・下森文敬さん



喜びの声を聞きました

コンテストの後も、仲間や先生たちの応援を受けて僕たちのプラン「Mitok」に磨きをかけています。工学部の学生にも自らプランの内容を話し、新メンバーとして加わってもらいました。コンテストの賞金は、審査員の方に知見を広げに一度東京に来てみたいかと誘われているので、その旅費にあてたいです。

宮崎大学長賞

空き家トータルサポート
MUH(ムー)
～空き家をつなぐ～

空き家の中にある荷物を、マッチングサービスにより別の空き家で保管することで、荷物のない空き家にし、利活用しやすくするビジネスモデル。

地域資源創成学部
地域資源創成学科3年
松澤美也さん



宮崎銀行頭取賞

シェアブル
-Share Playing-
～子供の「アソビ」が広がるコミュニティ～

ほかの家庭の子供が各家庭の「アソビ」に参加できる基本無料のインターネットコミュニティサイト。

地域資源創成学部
地域資源創成学科2年
福永昌俊さん・外山開成さん



ヤフー賞 審査委員特別賞

月額3千円から始める親孝行
～親孝行民に君はなる～

工学部
機械設計システム工学科4年
高見陽菜さん



DMM.com賞 審査委員特別賞

PLANTER
～アイデアを絞り出す時代から買う時代へ～

農学部
応用生物科学科3年
外山由季さん・松下由季さん

昨年に続き2回目となったビジネスプランコンテスト。今後も学生への起業家教育やコンテストを通じた学生の挑戦の場の創出に活発に取り組む宮崎大学に、観覧者や審査員からは大きな期待が寄せられました。

2 季節を感じる



大学のキャンパス内にもいるだけでも様々な風景を感じることができます。春には桜がいたるところで咲き誇り、梅雨の時期にはきれいな紫陽花が休憩スペースなどに行んでいます。夏に入る頃には青々とした風景と共生する建物を垣間見ることができ、ふとした瞬間に季節を体感できます。



キャンパスには自然がいっぱい

4 うしたち



のんびり気分だもう

平日の牛舎では、牛たちがのんびりひなたぼっこ。のんびり悠々と過ごす牛たちを、日中ずっと眺めてても飽きません。

6 秋の向日葵たち



今年の秋は、木花キャンパスの農場一面に向日葵が咲いていました。穴場の絶景スポットです。



研究室のドローンで撮影



Love みやだい

宮大生のファインダー越しに写る宮崎大学の姿を紹介。

1 みやおうくん、大活躍!



公式Youtube「Myaoh.TV」のキャラクター、みやおうくんのインスタグラム(@myaoh.TV)ではみやおうくんが宮大の情報を発信中!

「宮大Youtube」で検索だにゃ

3 夕暮れのキャンパス

秋口、夕方5:00。夕食をとり食堂に行ったり、サークルやアルバイトへ向かったりする時間です。



キレイな夕日が見られるよ

5 ゆるっとヤギスタグラム

学科や授業に関わらず、興味がある学生が自主的に集まって山羊の世話をしています。この活動を通して山羊の体調管理や飼育場の草本管理の重要性も学ぶことが出来ます。

宮大やぎからコメントをいただきました!

「俺に会いに来てくれよな!俺のチャームポイントは鼻のほくろ!キリトと間違えるなよ。」by タカチ
「僕は人なつこいからさ、みんなのアイドル的存在なんだ。人にぎゅってされると落ち着くんだ。」by キリト



食事中です



タカチとキリトの日常をチェック! 宮崎大学 やぎ@miyadai.yagi

学生広報スタッフ募集中

宮崎大学のPRに関わってみませんか?
興味のある学生さんのご連絡をお待ちしております。

連絡先 宮崎大学 広報・渉外課

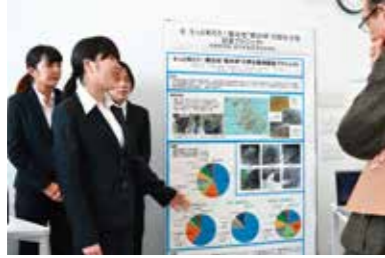
事務局棟 4階 (木花キャンパス)

TEL : 0985-58-7114

メール : kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

「宮大チャレンジ・プログラム」成果発表会

「とっても元気!宮大チャレンジ・プログラム」では、大学や地域活性化などをテーマにした宮大生の活動を大学が全面的にバックアップしています。今年も、県内各地で行われたオリジナルティあふれる17の企画の発表を行います。



日時:2019年2/20(水)10:00~15:00※12:00以降はポスター展示のみ
場所:宮崎大学 木花キャンパス 創立330記念交流会館
お問合せ先:学生生活支援課 ☎0985-58-7796

まちなかキャンパスを利用してまちおこしを!

宮崎大学は、地域の実情を踏まえた課題解決にむけた取組をより一層推進することを目的に、地域連携活動の拠点及びまちおこしのフィールドとして、2017年2月から若草通りアーケード内にまちなかキャンパスを設置しています。30名程度の収容が可能ですので、ワークショップ、セミナーの開催などにもぜひご活用ください。まずは、まちなかキャンパスのHPをご覧ください。



宮大 まちなかキャンパス

Event

●日程等は今後変更になることがあります。詳しくはHPをご覧ください。
<http://www.miyazaki-u.ac.jp/event-calendar.html>



住吉フィールド(牧場)開放
楽しい体験・物販があります!

日時:12/8(土) 10:00~15:00 農学部住吉フィールド
場所:宮崎大学農学部住吉フィールド ☎0985-39-1034

第75回宮崎大学イブニングセミナー
「宮崎大学における最先端の科学研究」

日時:12/13(木) 17:30~19:00 研究国際部研究推進課
場所:宮崎大学 木花キャンパス 創立330記念交流会館 ☎0985-58-2882

みやざき「子どもの貧困と教育」
フォーラム2018

日時:12/16(日) 13:00~16:00 教育学部附属教育協働開発センター(竹内)
場所:宮崎大学 木花キャンパス 創立330記念交流会館 ☎gengen@cc.miyazaki-u.ac.jp
※お申込みは12/10まで

公開講座 田野フィールド公開講座
～伐採の基礎を学び安全に作業しよう～

日時:2019年 1/20(日)・2/3(日) 10:00~16:00 産学・地域連携センター
場所:宮崎大学農学部田野フィールド ☎0985-58-7188

COC+シンポジウム 地域総ぐるみで
取り組む産業人材育成と若者確保

日時:2019年 2/12(火) 14:30~17:30 産学・地域連携課
場所:ニューウェルシティ宮崎 ☎0985-58-7868

宮崎大学教育学部音楽教育講座
「第20回スプリングコンサート」

日時:2019年 2/22(金) 19:00~21:00 教育学部音楽教育講座
場所:宮崎市清武文化会館 半九ホール ☎0985-58-7523

公開講座 ロコモティブシンドローム
を予防しよう

日時:2019年 2/23(土) 10:00~12:00 産学・地域連携センター
場所:日南市創客創人センター(宮崎大学日南デスク) ☎0985-58-7188

くしまアオイファームとの共同研究講座を設置

宮崎大学と株式会社くしまアオイファームは、さつまいもに関する複数の共同開発研究によるイノベーションの創出ならびに共同開発研究を通じた人材育成等を目的として、本学農学部共同研究講座「MIYADAI TAIYO AoiFarm Lab」を設立しました。本学としては、企業から資金や研究者を受け入れる共同研究講座の設置は初のこころみであり、企業から派遣される研究教員が大学の施設・設備を利用し本学と共同して企業の事業戦略に基づいた研究を推進します。本学は「世界を視野に、地域から始めよう」をスローガンに地域産業の発展に寄与する大学として教育・研究を行っており、株式会社くしまアオイファームは「強い農業はこえていく」をモットーにさつまいも輸出シェアで国内トップをひた走る宮崎の地元企業です。今後、

大学と地元企業がそれぞれのスローガン、モットーのもとに、新しい品種の作出やウイルス対策、貯蔵性や食機能に関わる多彩な研究を展開し、さつまいも産業の発展と、日本・南九州・宮崎県のさつまいも業界への貢献を目指します。



「ブラック・ジャックセミナー」を開催

8月18日、宮崎大学医学部附属病院で県内の医療に興味を持つ高校生を対象に「ブラック・ジャックセミナー」を開催しました。これは宮崎県内の未来の医療を担う人材を発掘することを目的に行われるもので、参加した高校生は、医学部生や外科系医師の1日の様子について講演を聴き、お昼は医療従事者と一緒に食事と談話を楽しみました。午後は、心臓バイパス手術体験や骨モデルを用いた骨折治療体験など様々な医療活動を体験し、最後に修了証書が授与されました。



緊急公開セミナー
「アフリカ豚コレラ」を開催

東欧、ロシアに拡大していた「アフリカ豚コレラ」が、8月、中国に侵入し、4例(10月現在、52例)続発したことを受けて、宮崎大学では、養豚関係者および市民への啓発を目的として、9月21日にセミナーを企画・開催しました。また、9月には岐阜県で「豚コレラ」が国内では26年ぶりに発生したことから、本セミナーには多くの関心が集まり、当日は県内外から200名以上の参加がありました。本セミナーでは、病名が似ている両疾病の違い、侵入防止対策、早期発見、初動防疫について説明がありました。



米国福岡総領事館の要請で
留学セミナーを実施!

9月15日、米国留学の様々な選択肢を周知することを目的に米国から2大学(ヤングスタウン州立大学、ネバダ大学)の留学担当教員・職員をお招きし、宮崎県の大学生・高校生向けのセミナーを宮崎大学まちなかキャンパスで開催しました。本学では、多くの学生が文部科学省の奨学金トビタテ!留学JAPAN等を活用し留学をしています。今回のようなセミナーを通じて留学のサポートや情報を提供することで留学を推進し、学生の大学生活における成長機会の選択肢を広げています。



宮大生が「未来の化学者たち」と化学実験

8月、宮崎大学の学生が「遊んで学ぼう!未来の化学者たち」と題して串間市・高鍋町・高千穂町で小中学生向けに化学実験を行いました。各会場とも約50人の小中学生の参加があり、大盛況でした。これは、本学が将来の社会のリーダーを応援する「とっても元気!宮大チャレンジ・プログラム」の一環で、子供たちの理科離れに歯止めをかけるために宮大生が出前講義を企画したものです。2月にはチャレンジ・プログラムの成果発表が行われる予定です。



TOPICS

宮崎大学で起こった出来事をご紹介します!
2018年8月~

宮崎大学「夢と希望の道標」
奨学金贈呈式を開催

学業成績が優秀な学生に対し奨学金が贈られる宮崎大学「夢と希望の道標」奨学金の贈呈式が、9月20日に行われました。当奨学金制度は本学独自の奨学金制度で、優秀な学生の確保、修学意欲の向上、優秀な人材の輩出を図ることを目的としています。今年度は、学部から推薦された55名(留学生4名含む)の学生に贈呈証書と目録が贈られました。贈呈式では、池ノ上学長から激励の言葉がかけられ、学生代表から謝辞と今後も益々精進していく旨の決意が述べられました。



学生が主催のハッカソン
「int 新しい遊びを作ろう」

9月23日~24日にかけての30時間以内で、プログラマー・デザイナー・プランナーなどが、チームを組みIT技術を活用したゲームを製作し競い合うハッカソンイベントを、宮崎大学まちなかキャンパスにて開催しました。これは本学のプログラミングサークルCrafterが「宮崎大学学生地域貢献活動補助事業」の採択を受けて企画・運営し、県内外のIT企業や宮崎市役所などの協賛(後援)により行われました。本学では、今後とも学生による前例のない挑戦を支援し、更なる地域の活性化に貢献していきます。



■ アパート・マンション賃貸・管理 ■ 売買

不動産のジーピー

ジーピー株式会社 本店 ☎0985-65-7000 FAX:0985-65-7001
<http://www.gp-home.com/> ジーピー 宮崎



宮崎大学限定醸造
本格焼酎

本格焼酎出荷量が3年連続全国一を誇る宮崎。宮崎大学では、15年以上の長きにわたり、多くの研究者がこれらに関する科学的知見の獲得と学術研究を推進しています。

「香を炊いて薫りを染み込ませた土をこね、形を整えながら陶器を作り上げる」意から転じ「人徳・品位などで人を感化し良い方向に導き教育すること」を示す古語『薫陶』に、高等教育機関としての宮崎大学の姿をなぞらえ、満を持して開発された限定芋焼酎製品です。

焼酎原材料「黄金千貫」種甘藷栽培・生育実験、酵母・タンパク質解明等の研究成果を大学発年次製品に昇華させることを目的に、2017年春に全学学術共同研究「宮大焼酎プロジェクト」がスタート。焼酎原料の甘藷は農学部附属圃場（木花フィールド）で栽培され、学生・教職員によって収穫されました。県産米、水などととも、宮崎市田野の渡邊酒造場蔵元保有の家付き酵母と伝統的仕込み技術など、生産性と持続性を念頭に、豊かな地域の自然資源、気候風土、歴史に、人的資源と研究成果を結集し地域振興に寄与する薫り高い製品と仕組みづくりを目指したものです。

また、ガラスびんに特殊吹付塗装による「陶器」然とした質感表現、水引や和紙、宮崎県産飼肥杉によるカップ等、徹底したコンセプトとデザインによる高付加価値製品に仕上げたことが高く評価され国内外で多数の賞を受賞しています。



- ★ 第40回日本パッケージングコンテスト2018
「最高賞：ジャパンスター・日本貿易振興機構理事長賞」受賞
- ★ Asia Packaging Awards
「Asia Star 2018 Award」受賞
- ★ 第20回福岡デザインアワード
「Design Prize」受賞

[デザインプロデュース 地域資源創成学部 宮木健二 准教授]

KUNTOU © Kenji MIYAKI 2018 UNIVERSITY OF MIYAZAKI ALL RIGHTS RESERVED.

薫陶 【非売品】 度数：37度 容量：720ml

「宮崎大学基金」に寄付いただいた方限定で贈呈します

宮崎大学基金HP <http://www.miyazaki-u.ac.jp/kikin/>

ご利用は無料!

スマホでかんたん決済! お支払いがもっと便利に!!

みやぎんPay

Point 1

どこでもかんたん決済

Point 2

バーコードをスキャンするだけ

Point 3

利用はもちろん無料

広告

※裏面に「payB」の表示がある振込票がお取り扱いいただけます。

お問い合わせはお近くの宮崎銀行の窓口へお気軽にどうぞ

※アプリのご利用は無料ですが、通信にかかるバケット代は別途お客さま負担となります。

まずは「みやぎんPay」アプリをダウンロード

iPhoneの方は
コチラ→

Download on the App Store

Androidの方は
コチラ→

GET IT ON Google Play

※Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
※Google Play ロゴは、Google Play Inc. の商標です。

※この欄は、広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

宮崎大学公式フェイスブック

みなさんからのたくさんの「いいね!」をお待ちしております。

Myaoh.TV

公式Youtubeチャンネルで宮大がわかる動画が500本以上!

宮崎大学広報誌『宮崎大学MAGAZINE』2018 vol.30 [発行日]平成30年11月30日

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/>

[編集発行]国立大学法人宮崎大学 広報企画室 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 (0985)58-7114

本誌を読んでのご感想など自由にメールでお寄せ下さい。✉ kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

*この宮崎大学MAGAZINEは、一般の方々を対象に宮崎県庁や県内の各市町村役場、図書館、道の駅、銀行などで配布しています。

バックナンバーは本学ホームページをご覧ください。

*本誌掲載の記事・写真・イラスト・ロゴ等の無断転載を禁じます。